

## 令和3年度第1回喜多方市立小中学校適正配置等庁内検討委員会が出された意見

- 1 日 時 令和3年8月11日（水）午後1時30分～午後2時45分
- 2 開催場所 大会議室
- 3 内 容
- 1 開会（進行 油井補佐）
  - 2 委員長あいさつ 教育長
  - 3 報告（議長：委員長、説明：小荒井）  
小中学校適正規模適正配置実施計画（案）の進捗状況について
  - 4 協議  
上三宮小学校に関する次年度以降のあり方について
  - 5 その他
  - 6 閉会

## 4 出された意見

## ○ 小中学校適正規模適正配置実施計画(案)の進捗状況について

	出された意見	回答【対応】
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「安定的な学校規模」は具体的にはどのような内容か。</li> <li>・「学校スタイル等の手法」とはどのようなことか</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・具体的には、「望ましい学校規模・人数」のことである。</li> <li>・複式学級がない、単式学級であっても、1学級17名以上のことである。</li> <li>・具体的には、小中一貫校や義務教育学校等である。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ただし書きの部分が多い。基本的な内容が薄まってしまっている。(内部だけで分かればよいのではないか)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基本的な部分はたたき台等で示してある。今後、文言について整理していきたい。</li> <li>・朱書きの部分等は、議論のための資料ということで、意見を出しやすくするための視点である。実際に実施計画にそのまま記載するわけではない。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会でどんな意見が出されたかを「報告」されるのかと思っていたが、事務局が提案した資料の報告ということでよいか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・審議会の資料等の報告である。出された意見については先ほど口頭で説明したとおりである。</li> <li>・本来であれば、話し合いの内容、出された意見等について報告する必要があった。次回以降考えていきたい。 【資料1-3 出された主な意見の資料を追加。】</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市は各校の通学路を設定しているのか。</li> <li>・安全対策を講じるとしているが、個々に対応するのであれば、あまりにも範囲が広すぎるのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・1年生に入学する際に、児童生徒と保護者から出されたものを通学路としている。教育委員会が指定、設定しているものではない。</li> <li>・実際には個々の通学路について各校等で把握して、安全性を確保していかなければならない。</li> </ul>

○ 上三宮小学校に関する次年度以降のあり方について

	出された意見	回答【対応】
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上三宮小学校の通学区域外の児童保護者等に対し、何か方策がなされたのか。</li> <li>・このような傾向が続けば、小規模特認校を導入したとしても、児童増は難しいと思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・該当の児童、保護者等を集めて話し合いを行ってはいない。</li> <li>・喜多方市の通学区域外の基準に基づいて判断をしている。</li> <li>・特に、該当の保護者等に通学区域外について制限を厳しくするという事はしていない。上三宮小学校だけでなく、他校との関連等もある。</li> <li>・小規模特認校を導入することによって、就学該当児の入学が増加すれば良いと考える。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・R4の入学者が0ということだと、これからも厳しい状態が続くが、次年度の入学に関する情報はるか。</li> <li>・R4から数年間を見越してその後のあり方を検討するということがだが、全員が入学するということが考えのベースになっているが、見通しはどうか。</li> <li>・R4から小規模特認校制度を数年間導入した上で、その後の適正配置のあり方を考えていくということだが、そのことについていろいろな意見が出てくるのが予想されるので、整理しておいた方がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意見交換会の中で、入学させたいという未就学児の保護者がいることを確認している。</li> <li>・複式学級がなくなれば、よいと思う。現在、2学級なので、せめて、4学級はほしい。教員配置の関係もあるため。</li> <li>・今後、整理していくこととしたい。</li> </ul>
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・区域外に通学している児童の兄弟姉妹関係もあるので、今示されている数字は望めないかもしれない。</li> <li>・意見交換会等で出された意見は地区全体として同様と考えてよいか。</li> <li>・意見、取組等を継続していくことを大事にしていった方がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区住民を対象とした意見交換会はできなかったが、会議の意見として取りまとめた。</li> <li>・出席者が少ないということもある。</li> <li>・継続を大事にしていきたい。</li> </ul>

4	<ul style="list-style-type: none"> <li>資料2の意見交換会で出された意見について、どれが意見でどのような取りまとめをしたのかを明確に区別して書いた方がよい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>書き方について今後明確になるよう工夫していく。</li> </ul> <p>【資料2 P3 [意見交換会で出された意見]の記載内容の修正を行った。】</p>
5	<ul style="list-style-type: none"> <li>別紙2の3、実施内容の基本的な考え方の3つを再度確認したい。</li> <li>基本的な考え方、地域のよさを活かすということについて具体的に明示した方がよいのではないか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在の教育活動をベースに考える、小規模校のよさを最大限に活かす（少人数、豊かな環境、地域との連携）小規模校のデメリットを最小限化する（人間関係が固定化している、多様な意見に触れる機会が少ない等）である。</li> <li>具体化できる部分は、明示していくようにする。</li> </ul> <p>【別紙2 3実施内容について記載内容の修正を行った。】</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> <li>現在提示していることだけで、魅力的な活動になるかどうか、よい経験をするように具体的に明示、見せる必要がある。</li> <li>教員の人数が少ない中、新たに教員の多忙化が心配される。配慮していくことが必要。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>できるだけ魅力的な活動になるよう学校と相談し、具体化できるようにしていく。</li> <li>教員定数内で学校を運営していくことになるが、市の方にも財政面でお願いすることも出てくる。</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>特色ある教育活動について明記してあるが、現在小学校に在籍している児童にも行うのか。</li> <li>スケジュールに特色ある教育活動について内容を明記していく必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新入生を含めて、在校生全員に行うようにする。</li> <li>できるだけ、具体的に見えるようにスケジュールの中に取り入れていきたい。</li> </ul> <p>【別紙3 スケジュールの記載内容の修正を行った。】</p>

○ 全体を通して

	出された意見	回答【対応】
1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後の放課後子どもクラブのあり方について、いろいろと考えていく必要があるが、適正規模適正配置の進捗状況を見ながら行っている。今後、いつまでに計画等ができてくるのか。</li> <li>・現在、特別支援（適）の児童の放課後子どもクラブの利用が増えている。市としては、特別支援についての方針をどのように考えているか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、地域で話し合うための実施計画素案の作成を行っている。基本計画等については今のところ、何年までということはいえない。</li> <li>・年度内には、学校配置まで考えていきたい。</li> <li>・実態調査等を含め、各校の学級の中で特別支援についての指導を行っている。市としては、就学の適正化を図っていく必要があると考える。そのため、就学指導審議会等で、児童生徒を①通常学級適 ②特別支援学級適 ③特別支援学校適 と3つに振り分けている。ただ、いずれの場合も、保護者の同意が必要である。また、特別支援学級を各校で新設する場合、県の基準によると、同一種で4名以上の入級者が必要になる。そのため、新設のハードルはかなり高くなっている。他市町村では一つの学校に対象となる児童を集める等の方策がとられる事例もある。その際も、保護者の同意が必要である。</li> </ul>
2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・上三宮小学校に小規模特認校制度を導入するにあたって、必要な予算はどのようなものがあるか。</li> <li>・当初予算で考えていくということによいか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一つは人件費、県から今年度は養護教諭を配置してもらったが、来年度は未配置になる可能性があるため養護教諭の配置をお願いしたい。次に、今年度も市の方から配置をお願いしているが、市の方で事務職員の配置もお願いしたい。その他、小規模特認校制度を推進するために必要になってくる人的、物的（教材等）なものの予算も必要になってくる。</li> <li>・来年度、飛び複式になる可能性もある。人的なものとして、1年生は、指導が大変であり、複式学級解消に向け、マンパワーも必要になってくる。また、特色ある教育活動推進のため講演会等の開催に向けた予算もお願いすることもある。</li> <li>・そのようにお願いしたい。</li> </ul>